

適正な水道料金について

目次

1	適正な水道料金とは	・ ・ ・ ・ ・	2
2	財政シミュレーション	・ ・ ・ ・ ・	5
3	投資・財政計画で掲げる経営改良案	・ ・ ・ ・ ・	14

2026年7月6日

加東市上下水道部管理課

■ 適正な料金とは？

施設・管路をキープ

安全でおいしい水

経営が黒字

■ 適正な料金について

～加東市水道ビジョン・経営戦略の指標（１）

財政シミュレーションの結果、このままだと・・・

事業収支赤字化（R12）

（想定外の好条件がなければ）

料金改定（＝値上げ）が必要

■ 適正な料金について

～加東市水道ビジョン・経営戦略の指標（２）

財政シミュレーションの結果、企業債の借り入れなしだと・・・

工事資金が不足（R15）

（予定通りに工事を進めるには）

企業債の借り入れが必要

※ 既に毎年の更新計画と補助金の割合を見ながら、無理のない額を借り入れて事業を実施中。

■ 財政シミュレーションを見てみよう

(1) 収益的収支

- ・ 収入は料金収入が、支出は維持管理費が主な内訳
- ・ 工事費は「減価償却費」として
約10～50年分（ものによる）に分割して計上している

【加東市財政シミュレーション（収益的収支）の特徴】

- ・ 人口ビジョンを元に料金収入の見込みを立てている
- ・ 物価上昇率を1.32%、賃金上昇率を0.92%と仮定

■ 財政シミュレーションを見てみよう

(2)資本的収支

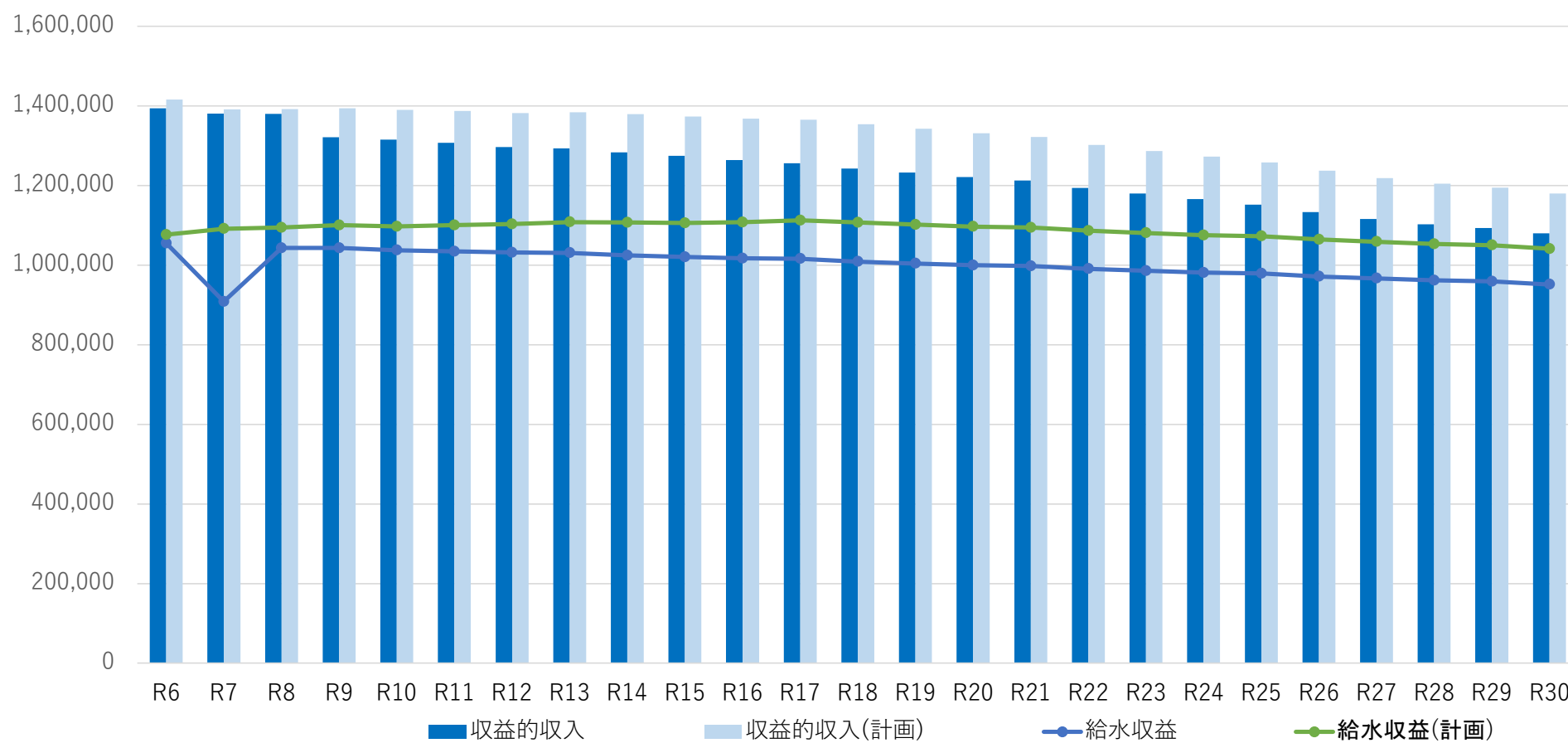
・収入は企業債借入と補助金が、支出は**建設改良費**と企業債償還が主な内訳

⇒支出が収入を大きく上回ることが多く、その差額は各種補填財源によって賄わなければならない

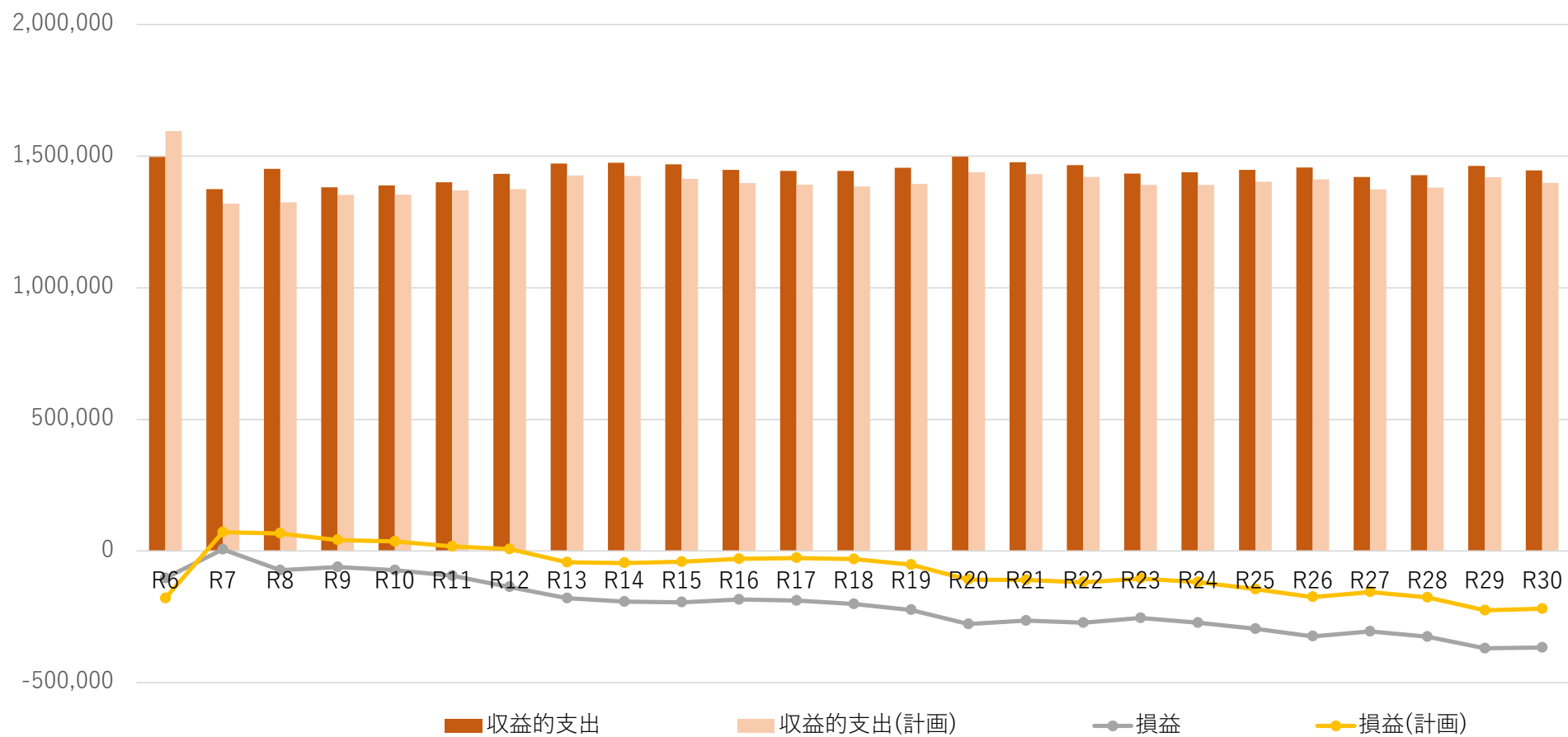
【加東市財政シミュレーション（資本的収支）の特徴】

- ・アセットマネジメントにより長期的な更新需要を算出
- ・当時の国庫補助金のメニューを元に、R10までの補助金額を収入に見込む

■ 事業収益と給水収益の推移（見込み）



■ 事業費用と純損益の推移（見込み）



■ 水道事業収益の見通し・最新

- 収益は、財政計画より下振れする

< 財政計画シミュレーションの主な見直し内容 >

- ・ 一人一日給水量見込み減少
- ・ 大口利用者（業務用など）使用水量の減少

※人口の減少傾向・減少率については、概ね市人口ビジョンと沿った形で進行しているため、今回の検討では変更を見込まない

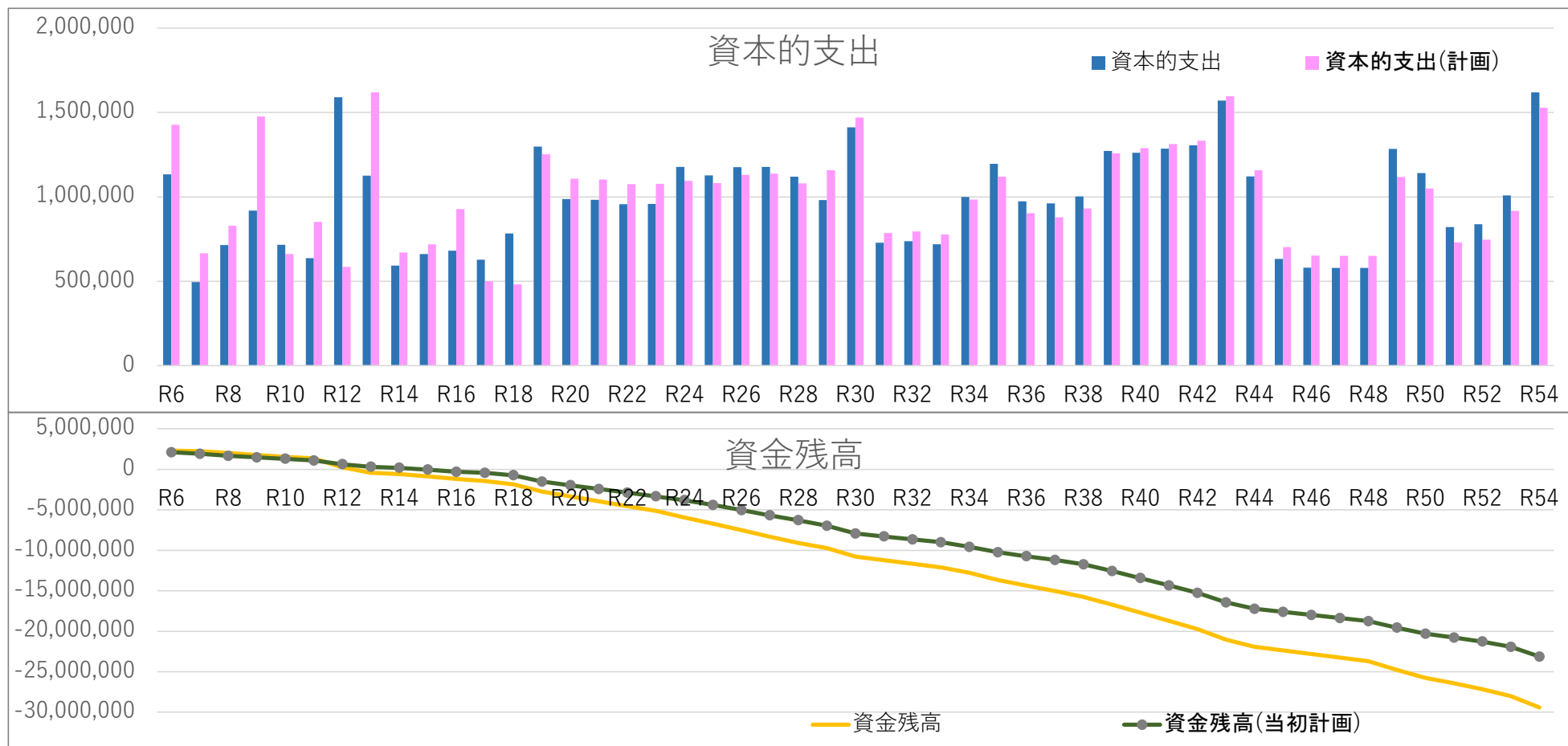
■ 水道事業費用の見通し・最新

- 費用は、財政計画を僅かに上回った状態で推移

< 財政計画シミュレーションの主な見直し内容 >

- ・ 物価上昇率を1.32→2.38%、賃金上昇率を0.92→1.74%に補正
- ・ 企業債の利息は1.8→3.2%に補正
- ・ R19までの減価償却費には、施設・管路の耐震化計画の進行度合いと実際の施工費を反映

資本的支出と資金残高の推移（見込）



■ 資本的支出の見通し・最新

- 建設改良費は年度によりばらつきがある

…国庫補助金の額によって左右されるため。※

更新工事の内容としては、実施年度に若干のずれがあるが、ほぼ遅滞なく進めている。

<※更新計画の進め方について>

財政計画では国庫補助金収入の有無と更新計画を切り離して考えていたが、実際には補助金対象となる工事は全て補助金を受けられるよう、施工の順番などを調節して計画を進めている。（計画通りに補助金を申請しても、全額受けられないことが多いため）

■ 資本的支出の見通し・最新

< 財政計画シミュレーションの主な見直し内容 >

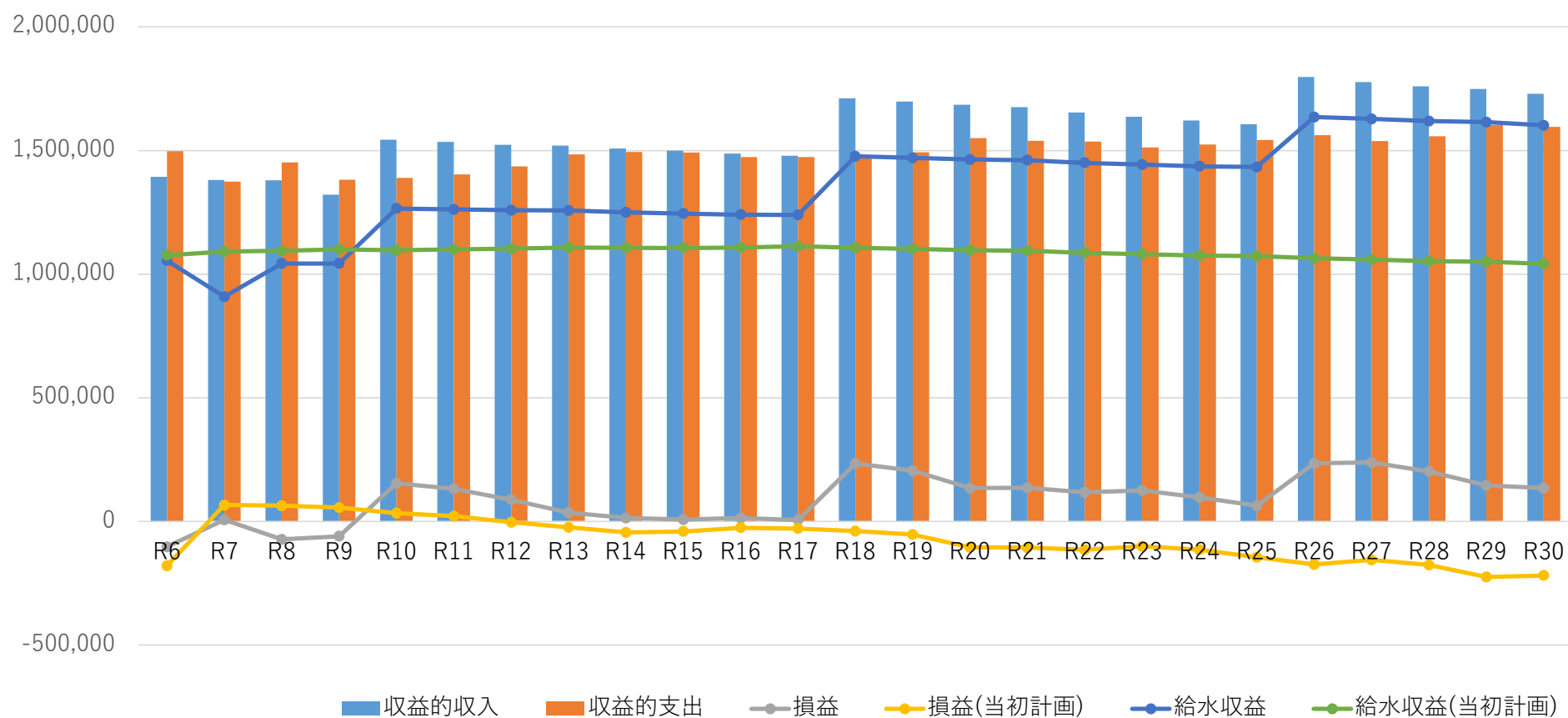
- ・ 施設・管路の耐震化計画の進行度合いと実際の施工費を反映

建設改良費 合計値の比較 (R7～R54まで)

R7.3月 財政計画	R8.6月 財政シミュレーション 見直し後
44,820百万円 (税込み)	45,121百万円 (税込み)

3 投資・財政計画で掲げる経営改良案

■ 収益的収支（料金改定を8年毎に実施し、企業債借入を適宜行う）



3 投資・財政計画で掲げる経営改良案

■ 資金残高と企業債残高（料金改定を8年毎に実施し、企業債借入を適宜行う）

